



JREU TOKYO 業務部速報



2026.04.21 No.041

発行：JR東労組東京地本 業務部

東地申
第13号

「京葉乗務ユニット近隣施設の夜間工事に伴う ホテル宿泊」に関する申し入れ団体交渉を行う！ 移動時間の労働時間の算入、ホテル点呼 どちらも認識合わず！！

JR 東労組東京地本は首都圏本部に対して、申13号「京葉乗務ユニット近隣施設の夜間工事に伴うホテル宿泊」に関する申し入れを提出し団体交渉を実施してきました。詳細については下記のとおりです。

京葉乗務ユニット泊がある、千葉地本、八王子地本も共通項目で会社に団体交渉の申し入れを行っています。地本の枠を超え、関係する全ての組合員・社員のために今後も連帯していきます。

■ ホテル泊の期間について

会社：2026年3月2日から2026年7月末を予定している。

施工主の会社とは7月中に京葉乗務ユニット頭上の箇所については工事を終わらせるように約束している。

工事の進捗が若干遅れていると聞いている。今のところ影響はないが期間は確約できない。

■ 交渉で示されたこれまでの経緯について

2025年4月に近隣施設の工事(他会社)があることが発覚。施工主の工事担当者、駅の工事担当者、京葉乗務UTの3者で初めて打ち合わせが行われ、首都圏本部に内容が共有される。

2025年4月、6月に会議を実施。振動や防音対策について検討。この時点ではホテル泊は確定していなかったが、平行してホテル手配や仮の休養室の検討を開始。仮の休養室としては、東京駅、東京乗務ユニット、丸の内乗務ユニット、N-CTCビル、などを検討したが、毎日一定数の部屋を必ず確保するという課題の克服が困難だった。

2025年10月にホテル泊とすることを決定。ホテルの選定に入る。最終的に工事施工側からは4か所への分散が提案されたが、できるだけまとめたという会社の考えがあり、最大でも2か所の分散が限界でありそれ以上は認められないと主張し、施工側と折衝してきた。

2026年2月に社員説明と周知。3月からホテル泊が開始される。

その②へ続く